

校報

K O U H O U



ギネス世界記録® 町おこしニッポン
「同時に食べさせ合いをした
最多ペア数」に挑戦!



背負い投げと日本人

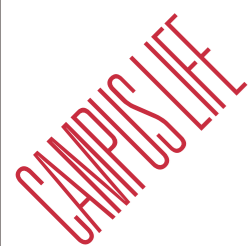


日本大学三島高等学校・中学校 校長
渡邊 武一郎

2学期も始まり、生徒の皆さんは勉強に部活動にと、毎日元気に過ごしている事と思います。日大三島には沢山の部活動があります。野球、テニス、バスケットボールなどの運動部に加えて、合唱、写真、生物などの文化部も多岐にわたります。皆さんの中には、帰宅部(?)の人もいるかも知れませんが、部活動に精を出すのも学校生活の一つだと思います。さて、今回は沢山の部活動の一つである柔道について考えてみたいと思います。皆さんもご存じの通り柔道は日本発祥の武道であり、また、オリンピック種目となったスポーツです。この柔道を作り上げたのが嘉納治五郎先生です。嘉納先生は柔道の創始者として知られていますが、学習院教頭、東京高等師範学校(現筑波大学)校長、旧制第五高等学校(現熊本大学)校長などを務め、柔道の精神である「精力善用」、「自他共栄」を校是とした旧制灘中学校(現灘中学校、高等学校)の設立にも尽力された教育者でもありました。

この嘉納先生が創始した柔道には大外刈り、内股、巴投げなど、多くの技がありますが、その中の一つに有名な背負い投げがあります。日本人なら殆どが知っている技だと思います。そして、背負い投げという技にある種の美意識を感じていると思います。しかし、背負い投げは他の技とは趣を異にします。それは「自分の敵である相手に背中を見せ、更には、その相手を背負ってから投げる」という点です。西洋の組技であるレスリングは基本的に相手の後ろに回る事を是としますが、柔道では相手に背を向け(隙を見せ)、その上で相手を背負って投げるのです。これは巴投げなどの捨て身技とも性格を異にするものです。我々日本人には当たり前過ぎて考えた事もないかもしれませんが、これは格闘技としても非常に特殊な技です。日本人は何故、自らの敵に背中を見せ、その相手を背負って投げるのでしょうか?そこで、思い出して欲しいのが、「精力善用」、「自他共栄」という嘉納先

生の唱えた柔道の精神です。自らの力をして善を為し、自他ともに栄える事を目的としての柔道です。背負い投げとは、単に相手を背負って投げるだけなのでしょうか?そこで背負っているのは相手の身体だけなのでしょうか?恐らく嘉納先生の考えた背負い投げには、もっと深い意味が含まれていると思います。そして、数ある柔道の技の中でも背負い投げに魅力を感じる日本人には、その意味が潜在的に分かっていると思います。背負い投げとは、一体何を背負っているのか?ここに日本人として生きるべき姿の答えがあるのではないのでしょうか?柔道とは単なる身体運動ではなく、身体運動を通しての思想の修得方法であり、その思想の身体的表現方法ではないのでしょうか?柔道部の生徒諸君も、柔道と接する機会の無い生徒諸君も、背負い投げについて一度考えてみませんか?今まで気がつかなかった何かが見えてくると思います。



教務

「新学習指導要領」

2022年度から高等学校の新学習指導要領による教育活動が年次進行で始まります。現在の小学6年生が高校に入学するタイミングです。現在の学習指導要領からの改善点はいくつかあるのですが、その中の主なものは以下の通りです。

- ①「社会に開かれた教育課程」の重視
- ②高大接続改革の中で実施される改訂
- ③主体的・対話的で深い学びの実現
- ④教科・科目構成の見直し

実際はまだ細かい点において改訂のポイントがあるのですが、まとめると、これから訪れる大きな社会変化の中で生き抜く人材について、「社会に開かれた教育課程」を策定することで育成し、そのためには今までのような知識偏重の学力観だけでなく、「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けた学習が「高大接続改革の中で」必要だということです。④の「教科・科目構成の見直し」もその一環であると考えられます。大きな改訂になるので、本校でも学校全体として、学校や生徒の実態、社会・地域の状況を把握しながら、より教育の質を向上させるカリキュラム・マネジメントの確立が求められます。

AIやIoTの技術革新、さらなるグローバル化という大きな社会変化の中、生徒たちが身につける学力とはどのようなものなのか問われています。従来と全く同じでは通用しない社会になるからこそ、従来と全く同じ教育ではなく、不透明な社会でも生きていける力が求められるのです。今回の学習指導要領の改訂はまさにこの点に力点が置かれています。本校でも今年から本格的に議論してゆきます。それは同時に未来の本校のあり方を決める大事な議論でもあります。

保健衛生

「健全な精神は健全な身体に宿る」

保健衛生部は、清潔な環境づくりと健康な心身を育成し、有意義な学校生活を送る手助けをしています。保健委員会では、日常の環境美化、救護活動、保健衛生などを心掛け、清掃の徹底を図っています。

■定期健康診断・歯科検診

学校保健法に定められている身体測定、胸部レントゲン撮影、心電図、貧血検査などの健康診断、医師による一般検診を実施した上で、異常の早期発見、受診勧告を行い、生徒の身体の成長を見守ります。

また、虫歯のない丈夫な歯を保つために、歯科検診を実施しています。

■生徒相談室

生徒相談室では、保健室と連携して高校生・中学生および保護者も含め、様々な心の悩みや教育相談に応じ、生徒の健康な発達を支援しています。

大部分の生徒は自分自身で悩みを解決し成長していきますが、中には解決できず、挫折したり、誤った方向に行動したりするケースも見受けられます。そこで、心豊かな学校生活を送るために専門家を招き、講演会も実施しています。これは、自己を見つめる良い機会となります。

なお、臨床心理士の資格を持つスクールカウンセラーが相談に応じています。

生活指導

「規律ある学校生活」

本校では、公共委員会を中心として全校生徒が一丸となり、基本的生活習慣や社会的マナーを身に付けることを目指し、週番活動その他に取り組んでいます。生徒数約2,000名の大所帯ですので組織や目標を明確にして円滑に機能するように努めています。

通学時の安全対策として、三島駅から本校までの通学路の要所に週番(生徒・教員)の係が立ち、安全確保に努めています。校門では、お互いに大きな声で挨拶を交わす「あいさつ運動」を行っています。

自転車利用者が1,000名を超えるため、三島警察署の協力を得て「交通安全教室」を実施し、交通マナーやルールの指導に力を入れ、事故防止に努めています。また、あわてて登校して事故に遭うのを避けるため、「遅刻者根絶運動」を各学期に実施し、自転車通学者と徒歩通学者の遅刻者ゼロを目指しています。静岡県全域で自転車による事故が多いため、自転車通学者のみを対象にした遅刻者指導も随時行っています。

現在、ネットトラブルが社会問題になっていますが、本校ではアディッシュ社の「スクールガーディアン」を導入しサイバーパトロールを行っています。365日・24時間体制で、プロによるあらゆるサイトの徹底したパトロールを行い、定期的に情報が送られ、生徒指導に活用しています。また、ネット関係でトラブルに遭った生徒の相談にも対処できる体制をとっています。



図書

「読書力を身に付けて自己形成していこう」

本校の図書室は校舎の中心とも言える場所に存在します。その図書室は「蔵書数の豊富さ」・「自習室の大きさ」を地域社会に自信を持って伝えることができます。平成30年度より2つの新たなスタートを行いました。1つ目は、「赤本の充実」です。入試の傾向を掴む際に使用する赤本を昨年の2倍以上、図書室に用意しました。その結果が、自習室で放課後、遅くまで勉強している生徒の光景を頻繁に目にします。2つ目は、「中学生向けの蔵書数の増加」です。本校は中高一貫校であるため、中学生に読ませたい蔵書を増加しました。心の成長のために図書室を頻繁に利用していただきたいです。

「読書力」とは読書を新しい言葉を手に入れるための手段として認識し、今まで積み上げてきた言葉を使って新しい言葉と対話する力と考えます。本に向き合い、新しい言葉をとらえて本と対話する力、つまり思考力を深めることでこれからの社会を生きる力、問題解決能力を身に付けることが可能です。そうすれば生徒はこれからの社会を自信に満ちて生き抜くことが可能です。生徒自らが進んで図書室でその「読書力」を手にしてほしいです。

生徒会指導

「桜陵祭 ～今ここに!桜最前線～」

長年、5月に3日間連続で行われておりました桜陵祭ですが、昨年度より5・6月の分割開催となり、今年度は5月16日(水)に体育大会、6月16日(土)、17日(日)に文化の部を開催いたしました。またこの桜陵祭が桜の花を咲かせる最前線となって、日大三島に関わる全ての人々が笑顔や楽しい気持ちになれるようにという気持ちを込めて、統一テーマを「今ここに!桜最前線」として行いました。

体育大会では、各学年による白熱した応援のなか、クラス対抗リレーや綱引き・棒引きなどで大いに盛り上がりました。学年対抗リレーでは男女とも熱戦が繰り広げられました。また、中学生は口クソランで見事なパフォーマンスを披露し、大会に華を添えてくれました。

文化の部では、各部活動による展示や公演、保護者会による物産展など、老若男女問わず来校者を楽しませることができました。クラスごとに行われた自由出店などの企画展示では個性が光る創意工夫が見られ、お化け屋敷も例年以上にクオリティーの高いものとなっており、順番待ちの長蛇の列もできていました。今回も校舎内のほぼすべてのクラス教室が会場となり非常に見ごたえのあるものとなりました。

また、文化の部2日目は本校創設60周年記念イベントとしてギネス世界記録®町おこしニッポンに挑戦をし、「同時に食べさせ合いをした最多ペア数」に挑戦し、生徒・教職員・一般の方を含めて見事1,980組(3,960名)が成功し、世界記録更新となりました。このように年々生徒が主体の生徒会活動になってきていますので、今後も生徒会活動に注目してください。



進路指導(高校)

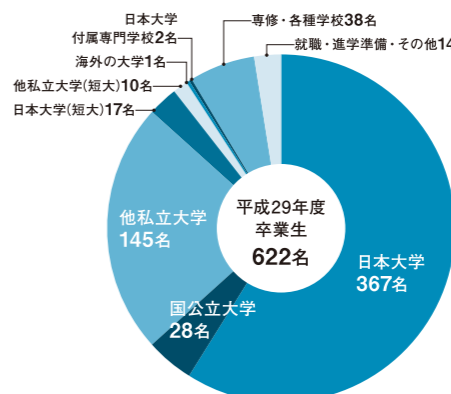
「進路状況(平成29年度)」



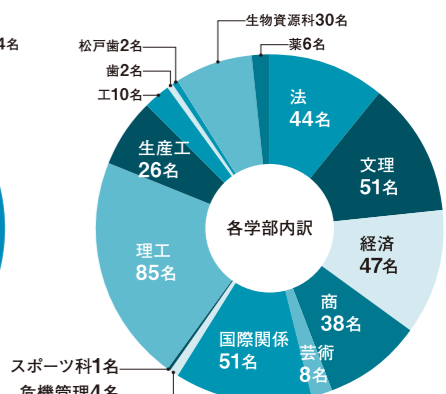
■現役生(平成30年3月卒業) 大学別合格者数

| 国公立大学 | | 私立大学 | |
|----------|----------|----------|------------|
| 東京大学 1 | 茨城大学 2 | 日本大学 405 | 中央大学 6 |
| 北海道大学 1 | 山梨大学 3 | 早稲田大学 5 | 法政大学 3 |
| 筑波大学 1 | 岐阜大学 1 | 慶應義塾大学 3 | 学習院大学 3 |
| 信州大学 4 | 福井大学 1 | 上智大学 2 | 関西大学 9 |
| 東京農工大学 1 | 鳥根大学 1 | 国際基督教 1 | 同志社大学 7 |
| 奈良女子大学 1 | 首都大学東京 1 | 東京理科 9 | 立命館大学 10 |
| 静岡大学 4 | 静岡県立大学 3 | 明治大学 7 | 成城大学 1 |
| 北見工業大学 5 | 前橋工科大学 3 | 青山学院大学 1 | 成蹊大学 2 |
| 山形大学 1 | | 立教大学 2 | 芝浦工業大学 5 |
| | | | 専修大学 1 |
| | | | 神奈川大学 8 |
| | | | 近畿大学 1 |
| | | | 名古屋外国語大学 1 |
| | | | 京都外国語大学 2 |
| | | | 昭和薬科大学 1 |
| | | | 東京薬科大学 2 |
| | | | 女子栄養大学 3 |
| | | | 日本女子大学 1 |
| | | | 昭和三女子大学 3 |
| | | | 東京女子大学 3 |
| | | | 同志社女子大学 1 |
| | | | 東京女子医科大学 2 |
| | | | 駒沢女子大学 1 |
| | | | 大妻女子大学 1 |
| | | | 東京医療保健大学 5 |
| | | | 鎌倉女子大学 5 |
| | | | 順天堂大学 4 |
| | | | 国際医療福祉大学 4 |
| | | | 東邦大学 2 |
| | | | 麻布大学 2 |
| | | | 国際関係 51名 |
| | | | 芸術 8名 |
| | | | 理工 85名 |
| | | | 生産工 26名 |
| | | | 法 44名 |
| | | | 文理 51名 |
| | | | 経済 47名 |
| | | | 商 38名 |
| | | | 生物資源科 30名 |
| | | | 薬 6名 |
| | | | 松戸歯 2名 |
| | | | 歯 2名 |
| | | | 工 10名 |
| | | | スポーツ科 1名 |
| | | | 危機管理 4名 |

■卒業生進路状況(平成29年度) 進学者数



■日本大学合格状況(平成29年度) 短大除く



4月から本校に着任された先生方に、

様々な質問に答えていただきました！

01 **好きなコトバ**



Dream as if you'll live forever. Live as if you'll die today.

Q. どのような教員を目指しますか？

A 生徒が英語に興味を持つきっかけを与えられる教員。

Q. 学生時代に一生懸命取り組んだことは？

A サークルでのバンド活動と、それに伴うギターやベースの練習。

Teacher's DATA 中学校

笛田 昂介 Kosuke Fueda

担当科目 ▶ 英語
出身 ▶ 静岡県
最終学歴 ▶ 上智大学 外国語学部 英語学科
趣味 ▶ 音楽鑑賞

Q. 日大三島のイメージは？

A 先生も生徒も多く、様々な出会いがあり、進路選択の幅も広い。

02 **好きな曲**



モリコーネ・パラダイス

Q. どのような教員を目指しますか？

A 音楽が得意な生徒の能力を伸ばすことだけでなく、苦手な生徒にも楽しいと思ってもらえるような授業をする教員を目指します。

Q. 学生時代に一生懸命取り組んだことは？

A 専攻していたサクソフォンの練習です。とにかく上手になるため、たくさんの演奏会に出るために毎日何時間も練習しました。

Teacher's DATA 中学校

加藤 梨紗 Risa Kato

担当科目 ▶ 音楽
出身 ▶ 静岡県
最終学歴 ▶ 日本大学 芸術学部 音楽学科
趣味 ▶ 楽器演奏

Q. 日大三島のイメージは？

A 生徒が明るく先生方もとても親切です。高校時代にお世話になったように、私も生徒の皆さんと関わっていきたいです。

05 **好きな時代**



19世紀ヨーロッパ

Q. 学生時代に一生懸命取り組んだことは？

A 部活動です。剣道部に所属していて、仲間とともに目標に向かって、日々稽古に励んでいました。

Q. 学生時代に苦労したことは？

A 昼間は大学の授業、夕方は部活、夜はアルバイト、という生活をしていました。そのおかげでも体力がついたと思います。

Teacher's DATA 高校

西原 拓朗 Takuro Nishihara

担当科目 ▶ 地歴公民(世界史)
出身 ▶ 神奈川県
最終学歴 ▶ 日本大学 文理学部 史学科
趣味 ▶ 読書/映画鑑賞

Q. 教師を目指したきっかけは？

A 中学、高校時代に出会った先生方のように、自分もなりたいと思ったからです。一日でも早く近づけるように頑張っていきたいです。

06 **好きなスポーツ**



HANDBALL
ハンドボール

Q. 学生時代に一生懸命取り組んだことは？

A 2つのアルバイト(スイミングスクールのコーチ/小学校の特別支援学級での介添員)と、ボクシングです。

Q. 日大三島のイメージは？

A 生徒数が多く、施設がとても広くて、明るく活発な学校だというイメージです。

Teacher's DATA 高校

小日向 桃子 Momoko Kobinata

担当科目 ▶ 保健体育
出身 ▶ 東京都
最終学歴 ▶ 日本大学 文理学部 体育学科
趣味 ▶ ドライブ

Q. 教師を目指したきっかけは？

A 何よりも「学校」が好きだったからです。これからは楽しい学校生活をつくっていききたいと思教師を目指しました。

03 **好きな科学者**



Thomas Alva Edison

Q. どのような教員を目指しますか？

A 情熱があり、授業がわかりやすく、人間として尊敬されるような教員を目指します。

Q. 学生時代に一生懸命取り組んだことは？

A 部活動です。目標に向かってひたむきに努力する姿勢を、部活動を通して学ぶことができました。

Teacher's DATA 高校

松岡 駿介 Shunsuke Matsuoka

担当科目 ▶ 理科(化学)
出身 ▶ 静岡県
最終学歴 ▶ 日本大学 文理学部 化学科
趣味 ▶ ラーメン屋巡り

Q. 教師を目指したきっかけは？

A 学園ドラマが大好きで、その中に出てくる生徒と真正面から全力でぶつかる先生たちに憧れたのがきっかけです。

04 **好きな言葉**



情けは人の為ならず

Q. 学生時代に苦労したことは？

A 今もですが、長所らしい長所がないので、少しでも周りの人に認められている部分を大事に伸ばしていこうと頑張っています。

Q. 日大三島のイメージは？

A 勉強や部活、行事を頑張ったり、友達との時間を大事にしたり、人それぞれですが皆ひたむきに毎日過ごしていると思います。

Teacher's DATA 高校

越智 宏之 Hiroyuki Koechi

担当科目 ▶ 国語
出身 ▶ 神奈川県
最終学歴 ▶ 成城大学 文芸学部 国文学科
趣味 ▶ 野球観戦/読書

Q. 教師を目指したきっかけは？

A 本格的に目指したのは、教育実習に行って実際に生徒と触れ合ってからです。大変でしたが、とてもやりがいを感じました。

07 **おすすめのアプリ**



Adobe Scan

Q. どのような教員を目指しますか？

A それぞれの生徒の夢や、目標に向けての一步を踏み出すきっかけを作り出せる教員になりたいです。

Q. 日大三島のイメージは？

A 明るく元気な生徒が多いイメージ。部活に勉強に、みんながそれぞれの目標に向かって頑張っているなと思います！

Teacher's DATA 高校

遠藤 貴子 Takako Endo

担当科目 ▶ 情報/理科
出身 ▶ 静岡県
最終学歴 ▶ 大妻女子大学 社会情報学部 社会情報学科
趣味 ▶ 音楽(聴くこと・弾くこと)

Q. 教師を目指したきっかけは？

A 高校時代、たくさんの恩師にお世話になり、教員の仕事に魅力を感じたことと、教えることが好きだったからです。

08 **好きな数字**



9103

Q. どのような教員を目指しますか？

A 優しさと厳しさを持つ教員を目指します。成長が見られたときは全力で褒め、誤った行動には愛情を持って厳しく指導にあたります。

Q. 学生時代に苦労したことは？

A 大学院で「数列の思いがけない現象」について研究し、中々結果が得られず苦労しましたが、諦めず継続し結果を出せました。

Teacher's DATA 高校

河野 聡 So Kono

担当科目 ▶ 数学
出身 ▶ 静岡県
最終学歴 ▶ 日本大学大学院 理工学研究科 博士前期課程 数学専攻
趣味 ▶ ピアノ/水泳/映像編集

Q. 日大三島のイメージは？

A 人懐っこい生徒が多いイメージがあります。教員と生徒の距離感には保ちつつ、何でも相談できる関係性を築いていきたいです。

JUNIOR HIGH SCHOOL

中学校トピックス

宿泊研修 (1年生)

4月26日(木)～27日(金)にわたりラフォーレ修善寺にて学年づくり、学級づくりをテーマに宿泊研修を行いました。座学による研修や、体育館での集団行動を通し、中学校での集団生活におけるルールとマナーを再確認しました。

夕食の際、調味料を床にこぼしてしまったり場面がありました。すると数人の女子生徒がさっと動き、ホテルの方に「何か拭くものをお借りできますか」と声をかけ、自分たちの力で最後まで対応することができました。ホテルの方からも「とても助かります。ありがとうございます。」と声をかけていただき、生徒たちも達成感のある良い表情をしていました。また、帰りの電車内では下車をする一般の方の迷惑にならないよう、通り道をあけてくれた男子生徒がいました。



一般の方から「どうもありがとう。がんばってね。」と声をかけられたときの生徒の嬉しそうな表情が印象に残っています。

日大三島の良さを地域に発信し、学級・学年の団結と成長を確認することができた宿泊研修となりました。

臨海学校 (1年生)

7月11日(水)～13日(金)にわたり松崎町岩地にて臨海学校を実施しました。天候にも恵まれ、シュノーケリング、カヌー、ラフトボートなどのマリンスポーツや干物づくり、地引網や釣りを体験しました。海岸清掃のボランティア活動も行い、各民宿でも生徒たちが自主的に食事の配膳や片付け、清掃などを行いました。

活動の中で特に嬉しかったことは、一緒に生活をした国際関係学部の大学生と部屋で談笑する姿や、女将さんに名前を覚えてもらうほど積極的に挨拶やお手伝いなどの交流をする生徒たちの姿が見られたことです。海での活動だけでなく、普段接することのない人との関わりの中で生徒の成長が感じられ、食事や休憩など、生活のすべてが素晴らしい体験学習の場となりました。

帰りの際には、真っ黒に日焼けした笑顔で、挨拶をする生徒たちの姿が印象的でした。楽しい行事の陰で多くの方の尽力があったことを知ってもらえれば一層嬉しく思います。4月の宿泊研修と比較すると、随所でさらに頼もしく活動する生徒たちの姿に確かな成長を感じることができました。周囲への感謝の気持ち、集団の一員としての行動力や協調性、責任感を身につけられたこと、そしてルールやマナーの大切さを再確認することができた素晴らしい行事となりました。



日本大学先端研究講座

7月27日(金)、全学年を対象に日本大学先端研究講座を行いました。大学の先生から直接授業を受けることで日本大学各学部で行われている最先端の研究を知り、学問への興味関心を育むことを目的としたもので、今回は日本大学医学部長の高山忠利先生を講師としてお迎えし、外科医療の最前線について学びました。世界初の「高山術式」誕生秘話や、生体肝移植の現場で見られる親子愛の話、また、先生が監修した医療ドラマの話など盛りだくさんの内容で、積極的に挙手したり質問したりする生徒も多く、あっという間の90分でした。自分は将来どのような学問を学び、どのような職業につくのか、生徒一人ひとりが真剣に考えるよいきっかけとなりました。



箱根遠足 (2・3年生)

4月27日(金)、天候に恵まれ、箱根遠足を無事に実施することができました。体力向上と2年生、3年生の親睦を深めることを目的に、三嶋大社から箱根関所まで、旧東海道16kmの行程を歩きました。

「こんな道を昔の人は歩いていたのか」「この坂ってこんなに急だったんだ」など、徒歩ならではの発見をする生徒も多くいました。足を痛めた教員のバッグを持ちながら歩いてくれる生徒、ネイティブの先生と一生懸命、英語で話そうとする生徒など、様々な場面で生徒の成長を感じることができました。完歩した達成感はもちろん、こうした面からも箱根遠足の良さを再発見することができました。

当日はインターンの大学生にお手伝いいただきました。さらには、平日にもかかわらず保護者会の皆様にも、危険箇所や迷いやすい地点に立って応援をしていただき、安心、安全に実施することができました。道中は大学生の若いパワーに後押しされ、難所を自分たちの力で前へ前へと進む生徒のたくましい姿に大変感銘を受け、全員がゴールすることができました。保護者会のピンクの旗が見えた時の「あ、見えた!」という生徒のうれしそうな表情と引率側の安心感は、今でも忘れられません。

最後は遊覧船で湖上からの景色を楽しみ、お別れにインターンの大学生全員と握手をし帰途につきました。楽しい行事ができるのも多くの方の協力があってこそ、という感謝の気持ちが少しでも芽生えてもらえればうれしく思います。



桜陵祭

体育大会では、徒競走・メデイニングボール・玉入れ・クラス対抗リレーに参加し、どの競技にも全力で取り組む姿が見られました。特にクラス対抗競技では選手はもちろんのこと、応援にも熱が入りクラスの団結力が高まりました。

中学伝統のロックソーランは、3年生の団長を中心に練習を行いました。今年初めてロックソーランを踊る1年生も先輩達に丁寧に教えてもらい、楽しく取り組んでいました。

「腰の低さ、踊りのキレ、声の大きさが日本一のソーラン」を目標に掲げ、練習に取り組みましたが、最初は上手くいかないことも多く悪戦苦闘していました。練習を重ねるにつれ団長達の指示も明確になり、練習も効率的に行えるようになりました。

当日はこれまでの練習の成果をいかに発揮し、素晴らしい演技を披露することができました。中学全体が一つにまとまり、各学年の役割を認識し、来年へ伝統を残す。大切な経験をしてくれたことと思います。

文化の部は、普段から高校生と共に活動している文化部の生徒たちが、高校生に負けずに活躍している様子が印象的でした。また、中学公演では各学年発表に加え、有志によるプレゼンテーションや〇×クイズ、漫才などで大いに盛り上がりました。展示や模擬店では、動画展示を積極的にとり入れたり、清涼感あふれる新商品「Nフィズ」を開発したりするなど、挑戦的な取り組みが目を見ました。たくさんの方にご来場いただき、笑顔で終えることができました。



SENIOR HIGH SCHOOL

高校トピックス

宿泊研修 (1年生)

4月26日(木)～27日(金)にわたり、熱海のホテル大野屋にて宿泊研修を行いました。

1日目の全体研修では、第1学年688名が揃って、高校生活における学習・生活・進路についての説明および、タブレットの使用に関する説明に真剣に耳を傾けていました。2日目にはクラス別研修を行い、タブレットを積極的に活用しながらクラスメイトとの親睦を深めていました。



横浜遠足 (2年生)

4月27日(金)、横浜市内へ遠足に行きました。各クラスで横浜市内でのバス下乗場所・乗車場所を設定し、その後は班別研修を行いました。クラスや班毎に行き先は異なりましたが、赤レンガ倉庫や山下公園での散策、横浜中華街での食歩きなどを楽しむ生徒が多く見られました。

2年生になって初めての行事となりクラスメイトとの親睦を深めることができ、さらに11月の修学旅行へ向けて良い事前研修となりました。



フィールドワーク (3年生)

4月27日(金)、鎌倉・江ノ島周辺へフィールドワークに行きました。今年度は「ラブレター」をテーマとし、各自が散策・調査を通して架空の相手にどう自分の思いを伝えるか(自己表現)を考えることを目標としました。鎌倉・江ノ島の絶景やフォトスポット、おすすめのお店を探して相手に働きかける方法を考えつつ、クラスの仲間と親睦を深めることができました。また、成果としてクラスで1枚の大判ポスターを作成し、廊下などに掲示しました。



夏期講習 (3年生)

7月下旬から8月上旬にかけて、8月下旬に夏期講習を行いました。今年度は4クール制を取り、実力テストを含めて計17日間の長い講習となりました。午後に行われた希望制の講座にも大勢の生徒が出席し、精一杯学習に励んでいました。9月には付属生対象の日本大学入試である、「基礎学力到達度テスト」が行われます。講習で培った学力をもとに、全員が見事志望校合格を勝ち取ってほしいと思います。



海外語学研修 (アメリカ テキサス州)



7月21日(土)～8月15日(水)の26日間、1・2年生の希望者61名が、アメリカ合衆国テキサス州オースティンでの語学研修に参加しました。

午前中は語学学校(Texas Intensive English Program)で英語のみを使って授業を行い、午後はアクティビティとしてグループに分かれ、生徒自身で公共交通機関を調べ博物館やショッピングモール、マーケットなどを巡りました。アクティビティでは学校から用意された課題を解決するために自ら現地の人に話しかけ、会話をすることで、日本で学んでいるだけでは経験することのできない貴重な体験をすることができました。

はじめは現地の生活に慣れず戸惑っていた生徒たちも、日々の授業や生活を通して、徐々に語学力や積極性を身につけていきました。特に2週目の週末、ホームステイを終えた後はそれまでの経験を活かしてよりいっそう積極的に話し、主体性を持って学ぶ姿が見られるようになりました。また、他国からの留学生と交流をしたり、現地の歴史や文化を学んだりしたことによって、英語力だけでなく国際的な感覚を養うことができました。

最後の3日間はロサンゼルスに移動して本場の野球観戦やアミューズメントパークに行き、生徒たちは研修の締めくくりとして大いにアメリカ文化を楽し

みました。特に、野球観戦ではエンゼルスの大谷選手を観戦できたことは日本人として嬉しく感じました。

1ヶ月弱という短い期間でしたが、親元を離れ英語に囲まれて暮らすことで、精神的にも成長し、新たな友人たちとの絆も深まり、生徒たちの将来に繋がる有意義な研修になりました。



テキサスプログラム

テキサスプログラムに参加して、現地の方々とホームステイやアクティビティを通して親交を深められたことが一番貴重な経験でした。日本人と英語で話すのではなく、現地の方々とだからこそ感じること・学んだことがたくさんありました。特に私を感じたことは、発音の難しさでした。授業やバスで質問する時に、私の発音が悪いせいで伝わらなかったことがたくさんありました。それから先生に発音などについて自分から質問することも増え、発音にも気をつけるように

なり、積極的に自分から話したり質問したりすることの大切さも学ぶことができました。まだまだ学ぶことはたくさんあるので、これからも英語の勉強を続けていきたいです。また、このプログラムで出会った友達とも関係を深めることができ、最高の思い出ができました。一緒にいてくれた友達と貴重な経験をさせてくれた親に感謝したいです。

1年 佐野 ちはる (富士中)

[高等学校]

- 陸上競技**
- 静岡県高等学校総合体育大会陸上競技大会
 - 女子400m 第1位 2年 石川 小晴(三島北中)
 - 男子110mH 第1位 3年 飯塚 魁晟(裾野東中)
 - 第65回東海高等学校総合体育大会陸上競技大会
 - 男子400m 第4位 2年 久松 千宝(沼津五中)
 - 男子110mH 第1位 3年 飯塚 魁晟(裾野東中)
 - 第73回国民体育大会成年・少年予選会(第1回)
 - 走幅跳 第1位 1年 君島 茉那哉(湯河原中)
 - 女子100m 第1位 1年 西村 織羽(山田中)
 - 男子110mH 第1位 3年 飯塚 魁晟(裾野東中)
 - 第73回静岡県陸上競技選手権大会
 - 女子5000m 第1位 1年 眞野 優花(御殿場中)
 - 男子110mH 第1位 3年 飯塚 魁晟(裾野東中)
 - 全国高等学校総合体育大会陸上競技大会
 - 男子110mH 第2位 3年 飯塚 魁晟(裾野東中)
 - 女子400m 出場 1年 土岐 優花(相洋中)
 - 男子400m 出場 2年 久松 千宝(沼津五中)
 - 女子400mH 準決勝進出 2年 石川 小晴(三島北中)
 - 第61回東海陸上競技選手権大会
 - 男子110mH 第3位 3年 飯塚 魁晟(裾野東中)
 - 第6回全国高等学校陸上競技選抜大会
 - 男子二段跳 第7位 1年 君島 茉那哉(湯河原中)
 - 女子600m 第6位 1年 土岐 優花(相洋中)
 - 男子五種競技 出場 2年 柏原 武流(長泉中)
 - 第51回静岡県高等学校新人陸上競技対校選手権大会
 - 女子400m 第1位 1年 土岐 優花(相洋中)
 - 男子400m 第1位 2年 久松 千宝(沼津五中)
 - 男子110mH 第1位 2年 柏原 武流(長泉中)
 - 女子400mH 第1位 2年 石川 小晴(三島北中)

- 柔道**
- 第65回東海高等学校総合体育大会柔道競技
 - 90kg以下級 第3位 3年 依田 絃希(日大三島中)

- ゴルフ**
- 関東高等学校ゴルフ選手権静岡・山梨県大会(男子)
 - 第39回団体の部 第1位 3年 鈴木 琉矢(浮島中)
 - 3年 飯塚 健太郎(日大三島中)
 - 3年 小山 大翔(玉川中)
 - 2年 田辺 虎(日大三島中)

- 水泳**
- 第66回静岡県高等学校総合体育大会水泳競技
 - 男子50m自由形 優勝 3年 北木 義仁(愛鷹中)
 - 女子100mバタフライ 優勝 2年 水野 夏南(北上中)
 - 第65回東海高等学校総合体育大会水泳競技大会
 - 男子50m自由形 優勝 3年 北木 義仁(愛鷹中)
 - 男子100m自由形 第2位 3年 北木 義仁(愛鷹中)
 - 女子800m自由形 第4位 3年 柚木 景(富士中)
 - 女子100mバタフライ 第2位 2年 水野 夏南(北上中)
 - 全国高等学校総合体育大会水泳競技大会
 - 男子50m・100m自由形 出場 3年 北木 義仁(愛鷹中)
 - 女子100mバタフライ 出場 2年 水野 夏南(北上中)
 - 女子800mリレー 出場 2年 佐野 萌華(富士宮第二中)・3年 原田 莉緒(長泉北中)・3年 麻生 有季乃(御殿場中)・3年 柚木 景(富士中)
 - 全国JOCジュニアオリンピック水泳競技大会
 - 男子50m自由形 出場 3年 北木 義仁(愛鷹中)
 - 女子100mバタフライ 出場 2年 水野 夏南(北上中)
 - 男子400mリレー 出場 2年 鈴木 恒陽(沼津三中)・3年 三田 健輔(錦田中)・3年 北木 義仁(愛鷹中)・3年 野仲 博文(富士川第一中)
 - 第73回国民体育大会水泳競技大会
 - 少年男子A50m自由形 出場 3年 北木 義仁(愛鷹中)
 - 少年女子A400mメドレー 第7位 2年 水野 夏南(北上中)
 - 第52回静岡県高等学校新人水泳競技大会
 - 女子100mバタフライ 優勝 2年 水野 夏南(北上中)
 - 男子400m個人メドレー 優勝 2年 鈴木 恒陽(沼津三中)
 - 第94回日本選手権水泳競技大会(OWS)
 - 女子10km 出場 3年 柚木 景(富士中)
- 新聞**
- 第42回全国高等学校総合文化祭 2018信州総文祭 新聞部門
 - 交流新聞 そうぶんニュース
- 放送**
- 第65回NHK杯全国高校放送コンテスト
 - アナウンス部門 準決勝進出 3年 矢崎 みなみ(沼津三中)
 - アナウンス部門 3年 竹内 璃穂(沼津五中)
 - アナウンス部門 2年 伊藤 菜月(高根中)
 - 朗読部門 3年 村瀬 晴香(富士岡中)
 - ラジオドキュメント部門 準決勝進出 3年 加藤 來偉(南足柄中)
 - (JK語はやばい?)
 - テレビドキュメント部門 3年 木内 珠鈴(長岡中)・3年 齊藤 帆夏(三島南中)
 - (彼女が見守る先に) 3年 鈴木 克(富士岡中)・3年 井出野 凌(清水中)
 - 第42回全国高等学校総合文化祭 2018信州総文祭 放送部門
 - アナウンス部門 3年 林 桃花(沼津五中)
 - 朗読部門 3年 安江 麻帆子(大磯中)

※結果は平成30年4月1日から9月30日までに判明したもので、紙面の都合により県1位、東海4位以上、全国大会出場の大会記録を掲載しました。

[中学校]

- 囲碁将棋部**
- 第39回全国中学生選抜将棋選手権大会静岡県予選会
 - 女子個人戦 優勝 2年 萩本夏々彩(沼津第四小)
 - 第39回全国中学生選抜将棋選手権大会 第20回「女子の部」
 - 女子個人戦 ベスト16 2年 萩本夏々彩(沼津第四小)

※結果は平成30年4月1日から9月30日までに判明したもので、紙面の都合により東部1位、県3位、東海8位以上、全国大会出場の大会記録を掲載しました。

ギネス世界記録® 町おこしニッポン「同時に食べさせ合いをした最多ペア数」達成!

創設60周年
記念イベント

この世界記録への挑戦は、現在の高校3年生が1年生の時に高校時代にやってみたいことについて発表した際に「世界記録に挑戦したい」という希望が多数あったことがきっかけです。そこから生徒会と教員とで協議を進め、生徒会企画で創設60周年と町おこし(みしまコロッケ誕生10周年)を兼ねたこのイベントが誕生しました。生徒会執行委員や実行委員の生徒たちは連日準備に追われ、また地域の方々への周知も含めチラシ配りを三島駅前等で行うなど一生懸命に挑戦成功に向けて取り組んでおりました。そして多くの卒業生の方や地域の方々ボランティアに支えられ、当日を迎えることができました。当日は梅雨の時期にも関わらず晴天に恵まれ、多くの来校者に参加していただきました。挑戦のルールは2人1組となり、制限時間15秒間の間に一口ずつみしまコロッケをお互いの口に入れるもので、1,980組(3,960名)の成功が認められ、見事世界記録更新となりました。

